

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

草苑保育専門学校実施報告書



実施主体 草苑保育専門学校 学生

実施内容 奥田晃久氏講話 街頭配布活動 文化祭ブース展開 オレンジリボンたすきリレー参加

①事前に取り組んだ内容

- ・「子ども家庭福祉」や「子ども家庭支援の心理学」、「社会的養護」の授業を通して児童虐待についての理解を深めた。
- ・豊島区児童相談所長 奥田晃久氏より「豊島区における児童虐待等の現状と課題」の講話を聞き、児童虐待についての理解を深めた。
- ・文化祭の「オレンジリボンブース」での活動を行う為に、クラス全員でオレンジリボン製作と壁面ポスター作りを行った。
- ・「オレンジリボンたすきリレー」への参加者を募った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・10/30 豊島区児童相談所長 奥田晃久氏の講演
児童相談所で日々実際に行われている児童虐待への対応と現状課題について、写真を交えて詳しく学んだ。
また、児童虐待は早期発見が大切であり、保育現場で保育者がいち早く虐待の可能性に気付く事が重要な役割である事を学んだ。
- ・オレンジリボン活動週間を数回にわたり実施
学生への虐待周知活動として校舎玄関ホールにてオレンジリボン製作や虐待に関する本の紹介などを行った。
- ・11/8 豊島区主催街頭キャンペーン参加
目白駅にてオレンジリボンと共に区が用意した啓発グッズを配布した。内容を聞き興味関心を持ってくれる方もいたが、受け取っていただけないこともあり、配布活動の難しさと共に依然オレンジリボンへの認識の低さを感じた。
- ・文化祭で使用するオレンジリボンを貼ってもらうためのポスター製作
オレンジリボン活動によって少しでも虐待防止の輪が広がっていき、子供たちが明るい未来へと希望が持てるような子ども虐待のない社会の実現を願い作成した。
- ・11/9 文化祭当日の9時～15時までオレンジリボンブースでの活動
来場者へのオレンジリボンの配布と虐待防止の呼びかけをし、子どもたちにリボン製作とポスターへの貼り付けをしてもらった。
- ・11/30 豊島区主催オレンジリボンたすきリレー参加
事前に募った参加者による区内たすきリレー（約8.5km）を行い、ゴールである豊島区役所庁舎センタースクエアにて児童虐待防止推進キャンペーンイベントに参加した。
参加ランナーは、温かい声援の中で虐待防止を願いながら無事に完走した。これを機に大勢の方に虐待防止活動が周知され、地域全体で虐待撲滅の意識が高まり、新たな取り組みが広がっていく事を願いたい。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

児童虐待の現状やオレンジリボン運動のことを少しでも多くの人に知ってもらい、全ての子どもたちの未来が明るいものとなるよう、地域全体の問題として虐待に対する意識を高めていくための定期的な活動の必要性を感じた。また、保育者をめざす学生として引き続き子ども虐待問題に関する理解を深め、様々な形でオレンジリボン活動に参加していけたらと思った。



写真

